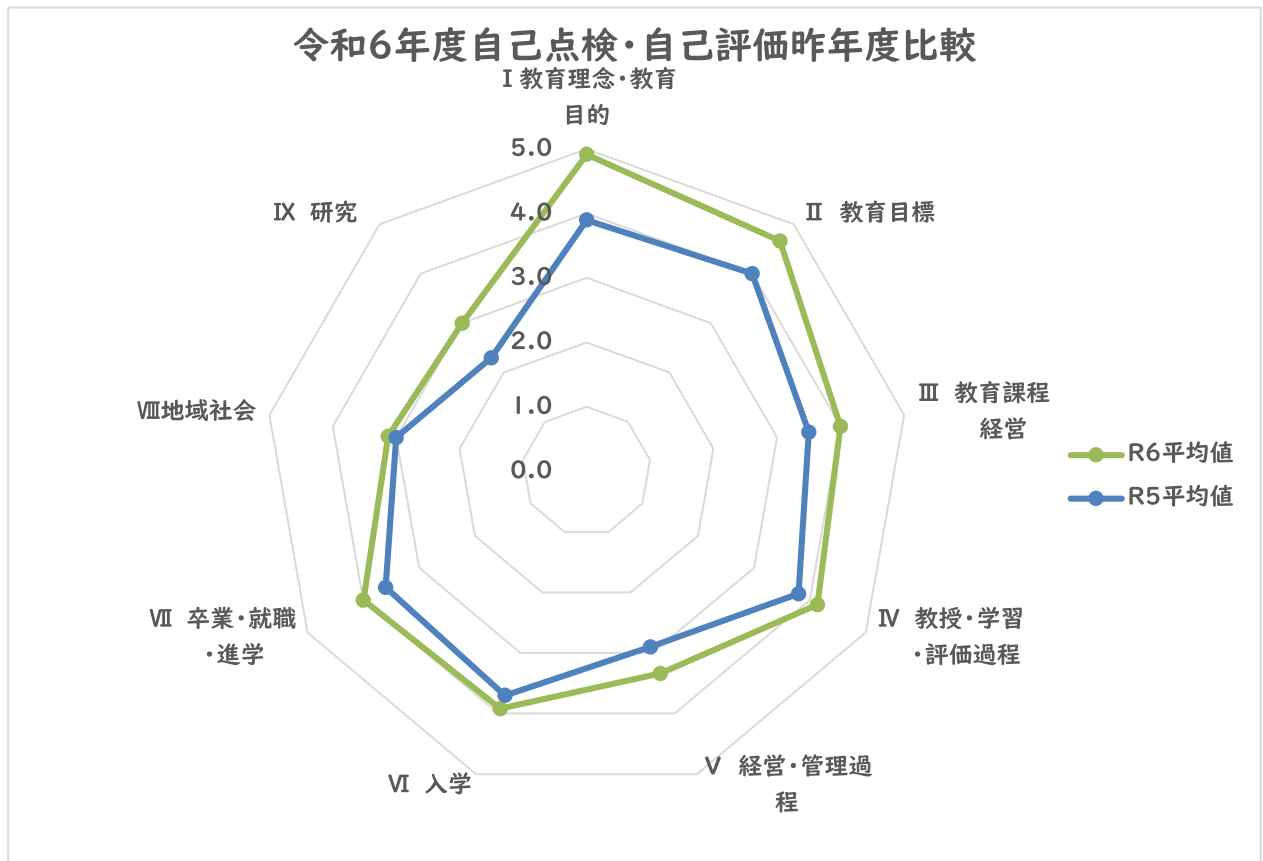


令和6年度土浦看護専門学校の学校評価

土浦看護専門学校の教育理念・教育目的は、「徳育」を教育基盤と捉え地域に根差して活躍できる心豊かな質の高い看護師育成を目指しています。この教育理念に基づく教育水準の維持・向上を図るため、平成26年度に第1回卒業生を出したことを機に、学校運営評価を実施しています。

評価は「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」を基に、9領域109項目で構成され、5「非常に当てはまる」、4「当てはまる」、3「どちらともいえない」、2「当てはまらない」、1「非常に当てはまらない」の5段階で評価しました。

令和6年度の学校評価は以下の通りでした。



令和6年度の学校評価は、ほぼ全ての項目において評価が上がっています。

「I 教育理念・目的」では、今年度の卒業生は全員新カリキュラムでの履修となりました。昨年度国の指針と整合性のある教育理念と教育目的になるように学則・細則の見直しをした結果、良い評価となりました。

「II 教育目標」では新カリキュラムでの体制は整備されましたが、今後見直しも必要です。

「III 教育課程経営」では、新カリキュラムの考え方が教職員・外部講師にも理解され、体制が整えられました。

実習の受け入れが今年度までという病院がありますが、受け入れ人数を増やせる病院もあり、また、学生数の減少から次年度の実習は問題なく実施できることになりました。

実習施設とは事前の打ち合わせをし、実習終了後は振り返りを行っているため連携が取れており、学生の学びの保障と患者の権利は尊重されています。また、インシデント事例の把握、分析をして学生へ安全教育・安全対策を行っています。

「Ⅳ教授・学習・評価過程」では、授業内容と教育課程の一貫性についての評価は、昨年度より多少上がっています。新カリキュラムの運用が定着しましたが、教員全員で十分な見直し・検討ができていないため、引き続き検討していく必要があります。

「Ⅴ経営・管理」では、管理者が変わり、教職員へ学校の方針が伝わりやすくなったことから、昨年度より評価が上がりました。

学生生活の支援では、担任制をとっており、学習・健康等、学校生活全般にわたり支援しています。

「Ⅵ入学」では、少子化であり、高校卒業者の人数も減少していることから、受験者数、入学者が減少しています。社会人が受験しやすい選抜方法と内容を検討し対策を立て、応募者数を増やすことが必要です。また、魅力的な選ばれる学校作りも大切であると考えます。

「Ⅶ卒業・就職・進学」では、ほとんどの学生が実習病院に就職し、就職率は100%でした。

国家試験対策は業者の力も借りて万全な体制で臨んだ結果、昨年度よりも合格率は上がりました。今年度も進学する学生はいなかったため、勧めていきたいと考えます。

「Ⅷ地域社会」では、霞ヶ浦総合公園のイルミネーションのポスターに、協賛金協力として学校の名前が掲載されました。また、土浦市コミュニティバスの停留所に「土浦看護専門学校前」のアナウンス（有料）を依頼して情報を発信しています。

「Ⅸ研究」では、オンラインでの学習会を実施し、全教員で学び合う機会ができました。学会へは2名が参加しました。オンラインでの教員全体研修は数回実施し、自分の時間を活用しての研修も受けられるシステムを導入できました。

茨城県看護教員連絡会への参加・夏季の自己研鑽研修は、ほぼ全員ができました。今後、教員を増員し、全員が学会や研修会に参加できるようにする必要があります。学会や、外部の研修会に全員が参加できる、また雑誌投稿や学会発表などの研究活動ができるように支援を続けていきたいと考えています。

令和6年度 学校関係者評価結果

評価項目		評価の概要
I	教育理念 教育目的	・理念・目的を元に教育者も生徒に対し率先して指導できていると思います。 ・新カリキュラムとなってから特に問題もないため継続を期待
II	教育目標	・個々の生徒に対してそれぞれ合った指導ができていると思いました ・新カリキュラム後も特に問題なく教育が整っている
III	教育課程経営	・個々の生徒を尊重しながら学習準備大変だったと思います、お疲れ様でした。 ・先生方は大変忙しそう ・新カリキュラムによる体制は定着しているが、教員不足による仕事量の多さや、それによる影響のおそれがある
IV	教授・学習 評価・過程	・学習意欲が増すようクラス皆なで協力し意見を出し合いながら成長していける環境づくり大切な事だと思い大切な事だと思いました ・教員不足の中、学生を一番に考えた取り組みがおこなわれている
V	経営・管理過程	・教職員の不足があるにもかかわらず自宅で準備をすすめたり非常勤に協力してもらうなど大変だったと思います ・細かなところを見直しされており、今後さらなる向上を期待 ・今後について、多少心配なところがあります
VI	入学	・社会人協の人数が他校より多くとてもたすかりました。又、チャレンジできる事ができる環境があるので良かったです。 ・本校に限らず定員割れには苦慮している ・少子化ではあるが、土浦看護専門学校の魅力をもっと伝えてほしい ・上記同様今後について心配 ・少子化・入学者減少への対策を学校全体で考えることが出来ている
VII	卒業・就職 進学	・国家試験対策でもクラス全員が協力しあいながら助けあいながらの環境作り牽引大切な事だと思います。 ・国試合格率も上がっていることから、国試対策の体制が整っており、引き続き期待
VIII	地域社会	・地域社会へのかかわりおつかれ様です ・地域に貢献、情報発信できている ・地域のイベントに参加し、情報発信出来ている
IX	研究	・お疲れさまでした ・時間的余裕が無さそう ・工夫、協力して行われている

